

小中高連携の推進について

令和5年度の重点的な取組事項3本柱、8項目の中に、「小中高連携の推進」があります。地域在住の中・高生との連携、近隣の高校との連携等、各校、工夫をこらしながら校種間連携に取り組んでいます。幅広い世代での交流により、夢や希望の実現や郷土愛の育成に繋がっています。NO.7では校種間連携の好事例を紹介します。

「地域在住の中高生との連携」 ～目標や夢の実現～ 岬小学校

岬小学校では、4年生が二分の一成人式で、同級生、保護者、地域の皆さんを前に「将来の目標や夢」について語ります。

5年生では、二分の一成人式で語った目標や夢の具現化に向けて総合的な学習の時間に地域の方を講師として招き、働くことの喜びや苦労等、職業観について学びます。

さらに6年生では、「ようこそ、先輩」の学習で、地域在住の中・高校生から「小学校時代に抱いた目標や夢」や、その実現に向けて小学生の頃に頑張ったことや、今どんな取組をしているか等、人生の少し先を歩む先輩の体験談を聴くことを通して、「職業観、勤労観」について考えを深めます。先輩の考えや思いにふれた6年生からは漠然と抱いていた夢の実現に向けて自分がなすべきことを、具体的に考えるよい機会になった等の感想が聞かれたとのことです。



二分の一成人式



職業についての学び



ようこそ、先輩

「近隣の高等学校との連携」 ～学習支援～ 常盤中学校

常盤中学校では、近隣の宇部高専と学力向上について連携しています。中間、期末テストの前に2日間勉強会を実施しています。高専の生徒5～6名が放課後に来校し、常盤中の先生方と共に、生徒の質問に答える形で実施しています。生徒からは、分からない問題が直ぐに解決できるのでありがたいとの声が上がっています。

また、常盤中では、総合的な学習の時間に「ときわ学」に取り組んでいます。「ときわ学」は、宇部の課題、常盤の課題について学び、次代を担う自分たちに何ができるかを探し出す学習です。この学習を進めるに当たり、近隣の宇部高校探求科の生徒と、ズームで結び、課題の見つけ方、探求の仕方について学び合っています。

「ときわ学」での学びの成果は、11月25日、恩田地区社会教育推進大会で発表されることになっています。



宇部高専との連携



宇部高との連携